

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2012-512062(P2012-512062A)
 【公表日】平成24年5月31日(2012.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報2012-021
 【出願番号】特願2011-541253(P2011-541253)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【FI】

B 3 2 B 27/32 E

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの層(A)が、4～10重量%のヘキセン-1を含み、1～10g/10分のメルトフローレート(MFR、ISO-1133にしたがって230/2.16kgで測定)を有するプロピレンとヘキセン-1とのコポリマー(A1)を含み；少なくとも1つの層(B)が、20モル%以下の $CH_2=CHR$ -オレフィン(式中、Rは $C_1\sim C_{10}$ アルキル基である)を含み、 $0.88\sim 0.945\text{ g/cm}^3$ の密度を有するエチレンと1種類以上の $CH_2=CHR$ -オレフィンとのコポリマー(B1)を含む；多層フィルム。

【請求項2】

コポリマー(A1)が、ISO-11357-3にしたがって、20/分の加熱速度を用いて示差走査熱量測定によって測定して125～150の融点を有する、請求項1に記載の多層フィルム。

【請求項3】

コポリマー(A1)が25重量%以下の室温におけるキシレン中の溶解度を有する、請求項1または2に記載の多層フィルム。

【請求項4】

ダブルバブルプロセスを用いてコポリマー(A1)及び(B1)を共押出することによって得られる、請求項1～3のいずれかに記載の多層フィルム。

【請求項5】

コポリマー(B1)中の-オレフィンが、プロピレン、ブテン-1、ペンテン-1、ヘキセン-1、4-メチル-1-ペンテン、及びオクテン-1から選択される、請求項1～4のいずれかに記載の多層フィルム。

【請求項6】

包装のための請求項1～5のいずれかに記載の多層フィルムの使用。